

信州名産ショップを活用した対面販売による中京圏マーケットリサーチ事業のご案内

長野県観光機構

地域で生産（製造）した農産物（特産品）、でもこれって

- ◇ 中京圏の消費者に買ってもらえる・・・ 価格設定は…？ 量は多すぎない…？ 消費者、バイヤー、店員の反応は…？
- ◇ 中京圏までの流通はどうか・・・ 発送手段は…？ それで採算性はとれる…？ 梱包は大丈夫…？
- ◇ 消費者の心を捉える広告・宣伝は・・・ 映えるディスプレイやPOPって…？ 並べて手にしやすいパッケージかな…？

中京圏の店舗で販売してみたい方に「信州名産ショップの売り場の一部」をご提供します。

提供売り場部分 〈正面青果販売スペース〉



〈正面右側対面販売スペース〉



販売告知のイーゼル

※どちらか一方でも構いません

販売期間

2日～1週間程度（うち試食販売は1～2日間を想定）

対象

生産農家、加工事業者、市町村、長野県地域振興局（上伊那、南信州、木曽） など

対面販売スタッフ

対面販売スタッフ1～2名の派遣をお願いします。

販売形式

原則として◇ 青果物・・・買取り販売（卸値を設定） ◇加工品・・・委託販売（掛け率を設定）

費用

ショップまでの発送費用はご負担願います。

信州名産ショップの支援

- ◇ お会計はショップスタッフが行います。
- ◇ お客様へのお声掛けを致します。
- ◇ 消費者、ショップスタッフ、バイヤーの評価を追ってご報告いたします。
- ◇ 販売予定をイーゼルで告知し、事前にお客様にお知らせいたします。

その他

この事業を対外的にどう呼称するかは制限はありません。（例）○○○産直市

中京圏マーケットリサーチ事業の手順

